

# Tokai Fubokon Letter

## 第41回東海父母懇談会

5月8日(日)に3年ぶりに待望の対面にて総会が行われました。どのブースもたくさんの方がご参加くださり、大変にぎわいました。

大好評だった鈴木敏夫氏の記念講演については、次号のT.F. Letterで特集します。

～父母懇事務局の各担当者より皆さまへ～

### 【制服リサイクルバザー】

皆さまのご協力で、集まった制服や体操服を再び使っていただける喜びを感じております。バザーで集まった8万6,190円は、全額一億円募金に寄付させていただきました。なお、バザーの運営に対してお寄せいただいたご意見は、よりご満足いただけるバザー開催に向けて、今後有効活用させていただきます。制服をお持ちいただいた皆さま、お買い上げいただいた皆さま、本当にありがとうございました。



### 【チャリティーカップ販売】

一億円募金活動として、マグカップに東海館をおつけて販売致しました。皆さまには、募金活動へのご理解と可愛いマグカップのセットにご興味を持っていただき、100セットほどをあっという間に完売することができました。ありがとうございました。



### 【中1分散会】

講堂にて、この春大学生となったOB2名をお迎えし、たくさんの新入生の保護者様、5名の先生方の参加で開催致しました。

OBの樋江井陽生さんより「質の良い授業を行っているので、授業についていって定期テストをしっかり勉強すれば、大学受験は問題ないです。先生が生徒

を信じて任せてくれるので、自分で決めなければいけない状況によって自主性が芽生えました。どうか温かな無関心で程よい距離感を。」



OBの宮島拓臣さんは「個性的で自由な学校なので新しい自分を探すチャンスと捉え、部活動や記念祭等のイベント参加に対して縛らないでほしい。特に部活動は短い時間で勉強するのに慣れるので、短期集中力と体力が付き、引退することでスイッチが入るためお勧めです。」と保護者へのお願いを真っ先に伝えてくれた後、体験談を惜しみなく語ってくれました。

お二人のしっかりした語りにメモを取りながら、皆さん熱心に聞き入っていました。質疑応答では、先生方へICT機器導入について、OBの方へは誘惑への対処法、志望大学の見つけ方など、たくさんの質問が飛び交い、大盛況に終わりました。

### 【参加者の感想】

- ・ 中1分散会でのOBの方のお話が大変参考になりました。とても良い機会をいただけてありがたいです。また、お忙しいところOBの方がわざわざ来てくださるという東海愛を感じました。
- ・ 高1分散会OBの談話。周りのお母様方もおっしゃっていましたが、是非子供に聞かせたかったです。いいお話ありがとうございました。
- ・ コロナで参加できなかったのが、初めて参加させていただきました。たくさんの父母の方が生き生きと働いていらっしゃる姿を見て、素敵だなあと思いました。
- ・ 初めての参加でした。父母懇談会の活動が生徒、保護者、学校をしっかりと支えておられるのを感じました。学校との接点としてだけではなく私たちも楽しめる機会として、今後も出来る限り参加したいと思いました。

## 北 新歓 地域懇談会〈4/29〉

北地域では新入生歓迎会を兼ねた春の懇談会に3名の先生をお迎えし、参加者22名で和やかに開催いたしました。

久田先生からは、生き抜くのに必要な力としての「自己肯定感」にまつわる講演をしていただきました。「自己肯定感」は、他者と社会との関わりの中で育まれるものであり、社会の協力と評価が最も大切だとお話されました。

子どもたちは、「自分も人の役に立てる」と実感できたり、他者から自分を肯定されたりすることで自分自身を肯定できるようになっていきます。自分が頑張り、また仲間と頑張り、そして他者から高い評価を得ることを何回か繰り返すことで、自己肯定感が高まっていきます。サタプロでも、記念祭でもカヅラカタでも、部活でも、一つの事をやり遂げることで自信が高まり、仲間意識が高まります。父母の役割として、息子たちの頑張る姿を温かく見守っていきたいと思いました。



谷中先生からは、学習指導部のお立場からお話を伺いました。社会・教育情勢がものすごい勢いで変化している

昨今、東海では子どもたちにとっての利益・成長につながる教育を、先生方が議論しながら進めていることを伺いました。

北地区担当の宮川先生からは、サタプロ実行委員会のお立場からお話を伺いました。サタプロ開催に向けての一連の流れに携わるなかで、子どもたちが貴重な経験をして大きな成長へとつながっていることを伺いました。

分散会では、3名の先生方に学年ごとのテーブルに順番に入っていただきました。どのグループも、皆さん積極的にお話されていて有意義な会になったと思います。各先生からはユーモアを交えてお話していただき、どのテーブルからも笑いが絶えることがありませんでした。

北地区では中学3年生の父母が幹事学年となり、皆さんで力を合わせてバザーの出店をされます。今年は東海キューピーとマフラータオルを製作されました。皆さんで力を合わせるにより、さらに結束力が強くなったとご意見を伺いました。

新入生父母の皆様からは、小さな心配や疑問が解消できたことのご感想をいただき、地域懇が不安解消につながっていると実感しました。

今後コロナと共存し、活動方法を模索していきたいと考えています。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

## 事務局を‘卒業’する先輩からの

### メッセージ

#### 東海父母懇事務局を卒業して

三輪 タ子

『父母懇事務局ってどんなところ?』と聞かれたら、間違いなくこう答えます。『私の人生を豊かにしてくれた素晴らしいところ』と。『なぜ?』って、勿論、東海父母懇だからです。窓口を含めて父母懇事務局に関わった4年間、生徒、先生そして多くの父母の皆様と活動を共にしたことは、私にとって掛け替えのない大切な時間となりました。



父母懇のT.F. Letterや文化講座に参加されて、事務局に興味を持たれた方がいらっしゃれば、ぜひ事務局



のドアを叩いてみてください オータムフェス会場で

ね。きっと素敵な出会いが待っていると思います。

~ここで出会えた全ての皆様へ~

心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

和佐田美代子

この卒業メッセージを書くにあたって父母懇での活動を振り返ると、とにかく楽しんだ事しか思い浮かびませんでした。東海の父母はスキルが高く、私の出来る事はほとんどなく、何をしようかな?とおもったとき

に、とりあえず参加して楽しもうと思いました。難しい講演を聞いていても眠くなるのですが、屋外のイベントやゲームを考えてしたりする事は楽しかったので難しいことはそれが出来るメンバーに任せて、とにかく楽しく、面白くなるように過ごしました。



そんな私でも受け入れてくださった懐の深い父母懇でした。息子が東海に入学した瞬間に全ての父母にもらえるプレゼントのリボンをほどいたら、楽しい父母懇ライフがもれなくもらえちゃいました！ステキなプレゼントをもらえるきっかけをくれた息子に感謝！ステキなプレゼントを用意してくださった東海父母懇に心から感謝です！ありがとうございました。

島田 理恵



2年間お世話になりました。コロナ禍とあって、寂しくも中止を余儀なくされた行事やイベントが多くありましたが、その分、集って開催できる喜びを存分に感じることが出来たように思います。準備や当日の運営など、皆さま＝「子育て中の仲間」との他愛ないお喋りや交流を通じて知らぬ間に癒されていました。恥ずかしながら私自身が何かのお役に立たた実感はないのですが、ただそこに居るだけで受容して下さる雰囲気があったなあと思い返しております。そして、無邪気に楽しませていただけたのは、縁あってご一緒した多才で温かな事務局の方々にお支えいただいたからこそと、改めて感謝しております。ありがとうございました。

～ 今後の掲載予定 ～

父母懇総会で行われた鈴木敏夫氏の記念講演の様子

編集後記

3年ぶりの対面での東海父母懇総会が開催されました。私は事務局に入って2年目ということで、総会の準備も当日の運営ももちろん初めて。不安がいっぱいでしたが、先生方や事務局先輩方がフォローしてくださり、緊張の中でもどうにか動くことができました。参加していただいた保護者の皆様のご意見を今後の事務局で活かしていければと思っております。卒業された事務局の先輩からのメッセージに心を熱くしながら、先輩方にはずかしくないよう、頑張りつつも事務局生活を楽しまたいと思っています。

～ 今年度限定コーナー！「広報部長のつぶやき」～

※T.F.Letter 本文内容とは関係ございません

手首から肘までの長さ足の長さがほぼ同じらしい。

息子の足は28cm。ワオ！